

第25回
横浜環境活動賞
事例集



横浜市環境創造局

横浜環境活動賞について

1 概要

横浜環境活動賞は、地域で様々な環境活動を積極的に行っている市民(個人・団体)、企業、児童・生徒・学生の皆様を表彰する制度です。環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めたいだくとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的に平成5年度に創設されました。

2 表彰内容

(1) 部門

「市民の部」「企業の部」「児童・生徒・学生の部」

(2) 表彰の種類

大賞 (各部門からそれぞれ1者を表彰)

実践賞 (大賞以外の受賞者)

特別賞 第25回のテーマは「生物多様性」(全応募者から生物多様性の保全・再生・創造に特に貢献している1者を選考)

3 対象となる活動(原則おおむね3年以上の実績があるもの)

(1) 市民の部

市民の皆様が自主的に行う環境活動で、将来にわたり継続する見込みがあり、身近な環境の保全・再生・創造、環境に配慮した実践活動、普及啓発等の分野で地域社会への貢献度が高いもの。

(2) 企業の部

企業経営そのものの取組姿勢から社会貢献活動まで広く評価の対象とします。

(3) 児童・生徒・学生の部

授業として取り組む活動を除き、児童・生徒・学生の皆様が自主的に行う環境活動で、将来にわたり継続する見込みがあり、身近な環境の保全・再生・創造や環境学習の実践等の分野で学内や学外の地域社会への貢献度が高いもの。

4 受賞者の決定

学識経験者等で構成する「横浜環境活動賞審査委員会」の審査に基づき、受賞者を決定します。

横浜環境活動賞審査委員会 委員名簿 (敬称略)

委員長	戸川 孝則	横浜市資源リサイクル事業協同組合 企画室長
委員長職務代理者	北村 亘	東京都市大学 環境学部 講師
委員	磯崎 保和	横浜市町内会連合会 幹事
委員	川崎 あや	特定非営利活動法人アクションポート横浜 理事 一般社団法人インクルージョンネットかながわ 理事
委員	川村 久美子	東京都市大学 メディア情報学部 教授
委員	為崎 緑	中小企業診断士
委員	湯川 之	横浜商工会議所 産業振興部長

※第25回横浜環境活動賞審査(平成30年2月23日審査委員会開催)時点

第25回横浜環境活動賞受賞者一覧（目次）

部 門	賞	受 賞 者 名	掲載 ページ
市 民 の 部	大 賞	横浜市地球温暖化対策推進協議会	P.2
	実践賞	熊野の森もろおかスタイル	P.3
		笹下川再生プロジェクト * 生物多様性特別賞 同時受賞	P.4
		南中あじさい咲かせ隊	P.5
		横浜海の公園ライフセービングクラブ	P.6
		緑園地区活性化委員会 緑園子ども見守りプロジェクト	P.7
企 業 の 部	大 賞	株式会社ファンケル	P.8
	実践賞	株式会社アベックス 京浜東海支社	P.9
児 童 ・ 生 徒 ・ 学 生 の 部	大 賞	横浜市立三保小学校	P.10
	実践賞	明治学院大学横浜キャンパス ヤギ除草システムプロジェクト	P.11

これまでの受賞者一覧・・・P.12～15

横浜市地球温暖化対策推進協議会

【団体概要】

◇ 活動の目的

横浜市が策定する地球温暖化対策実行計画に掲げた温室効果ガス削減目標の達成等に向け、市民、事業者、大学、行政などと協働して地球温暖化対策の実践行動を促進します。

◇ 活動地域 …… 横浜市全域

◇ 会員数 …… 122名（平成30年3月末現在）
（市民48・NPO14・自治会1・事業者59(大学・行政含む)）

◇ 活動開始年月 …… 平成18年10月

【主な活動内容】

- ・区民まつり等のイベントでの普及・啓発
 - ・横浜発！太陽光発電普及キャンペーン2020
 - ・横浜市地球温暖化対策実行計画等学習会
 - ・大学・企業課題解決マッチング会
 - ・風力発電とエネルギー関連施設等の見学会
 - ・道志村「横浜市民の水源地」間伐体験・水源地散策
 - ・台所油田プロジェクト(家庭の廃食油を回収し発電へ)
 - ・希望ヶ丘高校スーパーサイエンスハイスクール事業との連携
- ★それぞれプロジェクトチームをつくり活動しています。
ぜひ関心のあるプロジェクトにご参加ください！！

【横浜環境活動賞を受賞して】

当協議会は、市民・NPO・企業・大学等が横浜市と協働して、より市民に身近な区役所や自治会等の力を借りながら、二酸化炭素の削減をめざして活動しています。世界では、地球温暖化による自然災害の影響が甚大で、その対策として、脱炭素社会に向けた再生可能エネルギーの推進に力を入れています。

横浜環境活動賞 市民の部大賞を受賞させていただいた喜びを力にして、多様な組織が力を合わせ、脱炭素社会の実現に向けて、更なる取組に力を入れていきます。



区民まつりで省エネ・再エネ・廃食油回収PR



「風力発電見学会全員集合」・「道志村間伐体験」も



横浜発！太陽光発電普及キャンペーン2020



企業の課題に大学生が解決策を提案！

熊野の森もろおかスタイル

【団体概要】

◇ 活動の目的

未来を担う子供たちのために、地域で小さなコミュニティを作り、エネルギーや地域で楽しく暮らすことを、話し合い実行する。

◇ 活動地域 …… 横浜市港北区

◇ 会員数 …… 45名(平成30年3月現在)

◇ 活動開始年月 …… 平成25年5月

【主な活動内容】

- ・エコストーブやソーラークッカーなどを使った持ち寄りごはん会「エコストーブdeごはん」会開催(平成27年～)
- ・農・食・環境を体感する「もろおかエコステーション」でヨコハマ市民まち普請事業採択
- ・省エネに関する学習会(平成27年～)
- ・夏至の夜に「落語deキャンドルナイト」開催(平成29年～)
- ・野外でグリーン電力を使った映画と地域の歴史スライド上映会「星降る夜の幻燈会@梅の丘公園」開催(平成29年～) など

【横浜環境活動賞を受賞して】

活動歴は浅いのですが、このような賞をいただき、大変光栄に思います。

私たちの活動は、特定の動植物の種や環境の保全をするなどの直接的な活動ではありませんが、自然の恵みや太陽のエネルギーなどを身近に感じることで、環境に興味を持ち、省エネ行動などのアクションを起こしてもらうことを目的にしています。緑が多く残る地域の自然を大切にする人が増えるよう、これからも活動を続けていきます。ありがとうございました。



星降る夜の幻燈会@梅の丘公園



エコストーブde朝ごはん会



もろおかエコステーション・パーゴラづくり



落語deキャンドルナイト

◆Facebook <https://www.facebook.com/KUMANOmoMORI/?ref=settings>
◆問合せ先 Email: yatagarasu@artpost.jp

笹下川再生プロジェクト

【団体概要】

◇ 活動の目的

ささげがわ

笹下川が、昔のようにホタルが飛び交い、多くの魚や水生昆虫が生息する豊かな川となり、子どもたちがそこで遊び、学べるような環境にすることで、地域を大事に思う気持ちを育て、さらに、川での活動が地域の人達の集う場となり、まちの活性化につながることを。

◇ 活動地域・・・横浜市港南区笹下

笹下川(大岡川中流域)

◇ 会員数・・・正・準・賛助会員 30名

(平成30年4月現在)

◇ 活動開始年月・・・平成22年4月

【横浜環境活動賞を受賞して】

このたびは、「市民の部実践賞」及び「生物多様性特別賞」をいただき、誠にありがとうございます。これらの賞は、地域の多くの方の協力のもとにいただいた賞です。皆様、本当にありがとうございました。

この賞に応募したことにより、改めて活動を振り返り、まだまだ知識不足の面、やらなければいけないことがたくさんあると実感しました。これまでの活動を認めていただけたようで、大変嬉しく思う反面、身の引き締まる思いも感じています。これからも、地域のより良い環境を目指して、日々精進していきたいと思っております。

【主な活動内容】

◇ 清掃活動

「春の笹下川クリーンアップ」

「秋の笹下川クリーンアップ」

「川底清掃」

「取水庭公園^{しゆすいてい}清掃と花壇の整備」

◇ 講座開催

「川の学校」

水質検査、生き物調査、笹下川を食そう、魚釣り、竹の水鉄砲作り等

◇ 地域イベント

「取水庭公園お花見会」

「笹下川フォトコンテスト」



笹下川クリーンアップ



取水庭公園清掃



川の学校(魚釣り)



川の学校(笹下川を食そう、水質検査、竹の水鉄砲作り)

◆問合せ先 Email:sasageriver@gmail.com

南中あじさい咲かせ隊

【団体概要】

◇ 活動の目的

あじさいの里、名所づくりをめざして、横浜市立南中学校で育ててきた「あじさい」をさらに増やし、あじさいを柱として、地域全体の緑化を目指す。

目標は長期で取り組み、10年後には2万本をめざしたい。また、“あじさいを育てることを通して、あじさいを愛し・育てる人を育てること”を目標とする。

◇ 活動地域 … 横浜市南区(六ツ川地区、南永田山王台地区、井土ヶ谷地区、本大岡地区)

◇ 会員数 … 15名、南中学校園芸部26名
(平成30年4月現在)

◇ 活動開始年月… 平成26年7月

【横浜環境活動賞を受賞して】

学校と地域が一体となって、「あじさい」が異世代をつなぐキーになっていることを、少しでもアピールできて、うれしく思っております。自分たちの活動に“お墨付き”をいただいたようで、皆、大変喜んでおります。

【主な活動内容】

南中学校内にある50種1,000株の「あじさい」を南中学校を学区とする四つの連合自治会が協力・支援し、南中学校園芸部と共同で地域全体のあじさいによる緑化を推進し、途切れなく継続してできるように注力してきました。

当初は、あじさいへの水やりの協力から始まり、毎年約300～700株を生徒さんと共同で挿し芽、育成してきました。その“あじさいの鉢”を、近隣の民有地、沿道の植栽柵、家庭、公園、小学校へも配布し、地域全体のみどりアップにつなげています。

これらの“あじさいを仲介”に学校、生徒、ボランティア、近隣の方々との交流も育まれてきました。

現在、毎週金曜日の午後を作業日として、活動しています。



南中学校にあるあじさい



生徒・ボランティアで鎌倉の長谷寺を見学



南中学校で大事に育てている「未来」



作業風景

横浜海の公園ライフセービングクラブ

【団体概要】

◇ 活動の目的

本クラブは、横浜海の公園をメインフィールドとして活動しながら、広く水の事故から人命を守るライフセービング活動を通じて地域社会に貢献するとともに、クラブ員の資質や技術、体力の向上を図りながら、クラブ員の親睦を深めることを目的とする。

◇ 活動地域 …… 横浜市金沢区(海の公園)

◇ 会員数 …… 119名(平成30年3月現在)

◇ 活動開始年月…… 昭和63年7月

【主な活動内容】

- ・海の公園海水浴場監視活動
- ・海の公園ビーチクリーン活動
- ・ライフセービングスポーツ活動(競技会参加)
- ・海上イベント安全管理活動
- ・安全普及啓発活動
- ・学校等講演活動(安全教育・防災教育・環境教育)

【横浜環境活動賞を受賞して】

私たちは、横浜市唯一の海水浴場「海の公園」の監視所を母体として活動する任意団体です。主活動である海の公園での安全管理を中心に、海岸に漂着するゴミやアオサ、環境団体によって植えられ、異常繁茂してしまったアマモの繁茂状況を調査協力するなど、環境保全にも重点をおき活動してきました。中でも30年前の海水浴場開設当初から行ってきた、15時より来園者を巻き込んだ15分間の「海のクリーンタイム」を継続してきたことが評価され、継続することの大切さを痛感いたしました。これからも自らのフィールドを、自らの継続可能な活動において守ることは大切ですが、これからの10年は「捨てさせない仕組み」について主眼を置き、活動していきたいと思っています。



海水浴場内で繁茂したアマモの刈取り作業協力



15時のビーチクリーンタイムにライフセーバーも参加



近隣学校で安全教育と環境教育の出張講演



拾うだけでなく、捨てさせない仕組みも企画中

◆ホームページアドレス <http://yulc.grupo.jp/>
◆問合せ先 Email: yulc198871@gmail.com

緑園地区活性化委員会 緑園子ども見守りプロジェクト

【団体概要】

◇ 活動の目的

児童が育てた花を、プロジェクトに参加の地域の住民や店舗に届け、花を育てながら児童を事故や災害から見守る。

◇ 活動地域

横浜市泉区(緑園1～7丁目の8自治会、岡津町西部、堂山団地、新橋上)、戸塚区(名瀬第4、名瀬たかの台、エステ・アベニュー緑園都市) 計14自治会

◇ 会員数 …… 46名(平成30年3月現在)

◇ 活動開始年月…… 平成25年10月

【主な活動内容】

春と秋に、緑園東小学校・緑園西小学校の児童が、小学校で花苗を約1か月育て、大きく育った苗をプロジェクト参加の住民や店舗に、児童からのメッセージを添えて届けます。

プロジェクト参加の方々は、児童の登下校時に花に水やりをしながら児童を事故や災害から見守ります。

児童が花苗を育てることで、児童、児童の保護者、地域住民が地域の環境維持に積極的に参加しています。

【横浜環境活動賞を受賞して】

私たちの活動に対して、横浜環境活動賞をいただき感謝いたします。活動に参加している児童も大変喜び、ますます活動への励みになります。ありがとうございます。この活動は緑園東小・緑園西小3年生の児童が参加しています。平成26年春に活動に参加した児童が、この春から中学生になりました。児童たちの活動の想いが次の児童に受け継がれ、地域の方々にもその想いが伝わり、児童が安心して暮らせる緑豊かな緑園都市が継承されるものと思います。



花芽をカップに植替え



約1か月学校で育成



育てた苗を地域の方へ贈呈



プロジェクト参加家庭の玄関前に設置

◆問合せ先 長谷川 幹夫 TEL/FAX:045-812-6987 Email:mhase@asahi-net.email.ne.jp

株式会社ファンケル

【企業概要】

- ◇ 事業内容
化粧品・健康食品の製造販売
- ◇ 所在地
横浜市中区山下町89-1
- ◇ 従業員数 …… 1,009名
- ◇ 環境への取組開始年 …… 平成4年

【横浜環境活動賞を受賞して】

横浜環境活動賞 企業の部において大賞をいただき、大変光栄に思います。ファンケルのビジネスの原点は世の中の「不の解消」です。化粧品公害という社会問題(肌トラブルで悩む人が増加)を解消するために生まれた無添加化粧品、高価だった健康食品を品質を落とさず続けやすい国際レベルの価格にしました。また、受領印不要で1回で受け取れる「置き場所指定お届けサービス」などベンチャー企業として、これからも環境に配慮した製品・サービスを提供してまいります。

【環境に関する主な取組内容】

- ◇ 発芽玄米事業
精米で廃棄していた糠や胚芽に注目し、玄米を発芽させることで丸ごと食べられるようにしました。これにより年間で約500トンの食品廃棄を減らすことができました。発芽させることで血管のつまりを予防する成分が生じることも分かりました。
- ◇ 工場でリサイクル
工場では、玄米の色や大きさが違う屑米や糠が^{くずまい}発生します。2016年度は202トン発生し、鶏のエサや畑の肥料として活用しました。
- ◇ 予約定期お届けサービスと無期限返品保証制度
年間2トンの食品戻りがあります。返品理由を調べると4割が必要以上の注文です。必要以上にお届けしないよう、発送前の事前確認で400kgを減らし、コスト削減を割引としてお客様に還元しました。
- ◇ 世界の子どもたちに給食支援(WFP寄付)
毎年開催しているシニアゴルフイベントの収益やチャリティー募金をWFPに寄付し、腹ペコで学校に通う世界の子どもたちへの支援に活用しています。9年間で約34万人の子どもに給食を届けました。



玄米で廃棄されている糠・胚芽に注目【研究】



色や大きさが違う屑米もリサイクル【工場】



定期お届けと無期限返品で食品ロスゼロへ【サービス】



チャリティー募金を子供たちの給食に【イベント】

◆ ホームページアドレス <http://www.fancl.jp/csr/index.html>
 ◆ 問合せ先 TEL:045-226-1518 FAX:045-226-1203 Email:csr_promote@fancl.co.jp

株式会社アペックス 京浜東海支社

【企業概要】

◇ 事業内容

飲料自動販売機による中身商品の販売
カフェサーバー事業/レストランの経営

◇ 所在地

横浜市都筑区川向町891

◇ 従業員数 …… 32名

◇ 環境への取組開始年 …… 平成8年

【横浜環境活動賞を受賞して】

弊社は今年で創業55周年。この節目の年に、「第25回横浜環境活動賞 企業の部実践賞」をいただきましたことを大変光栄に思います。誠にありがとうございます。“飲み物”という生態系サービスの恩恵を最も受ける業界の1つに身を置くものとして、持続可能な事業を営むためには、環境課題に取り組むことであると考えております。これまで55年培ったことを強みとし、今後とも環境活動・CSV活動に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

【環境に関する主な取組内容】

アペックスが「お客様とのお約束」として掲げている“最高の一杯、最高のひととき”を提供するために、飲料開発、機械開発、オペレーション、品質管理とともに不可欠なのが、環境への取組であると考えています。

◇ 生物多様性保全への取組

持続可能な原料調達のため、サステナブルコーヒーの支援をしています。

◇ 気候変動問題への取組

低炭素社会の構築のために業界最省エネクラスのカップ式自動販売機の開発や、紙カップ等での国産材活用で国内の森林吸収源育成に貢献しています。

◇ 廃棄物の削減・資源の再利用

循環型社会の構築のために、空き容器や食品残渣(コーヒー残渣)の循環利用に努めています。

◇ CSV活動

弊社の強みを活かし、地域社会に貢献します。



横浜市立さわの里小学校での出前授業
(環境・防災教育を実施しました)



よこはま森の楽校への参加
(さわの里小学校の児童が、出前授業を通じて、間伐材について学んだことをまとめたパネルを展示しました)



横浜自然観察の森にて外来樹木を除伐



横浜市民防災センターの災害対応型カップ自販機

◆ ホームページアドレス <http://www.apex-co.co.jp>

◆ 問合せ先 環境部 TEL:03-3234-6421 FAX:03-3239-5805

横浜市立三保小学校

【団体概要】

◇ 活動の目的

地域の自然保護や地域の人々との関わりを大切に、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観をもった児童の育成を目指す。

◇ 活動場所 …… 横浜市緑区(地域の自然)

◇ 児童数 …… 1,010名(平成30年5月現在)

◇ 活動開始年月…… 平成24年4月

【横浜環境活動賞を受賞して】

この活動は地域に残された自然を児童が調べる活動から始まりました。取り組むうちに、豊かな自然をなんとか多くの人に知ってもらいたいという児童の思いから続けてきました。6年間に渡り、児童達が地域を写真に残し、伝えてきた成果が実を結んだことは大変励みになります。

【主な活動内容】

6年生「我がまち ふるさと 三保」

6年生の総合的な学習の時間では、小学校生活の経験をいかし、地域の自然を写真に収める。撮り始めは自分の想いをうまく表現できなかつたり、撮った写真に納得がいかなかつたりする。しかし、プロの写真家に指導していただくことで上達していった。

また、活動の中でこれまで関わってきた場所や人の魅力を再確認するとともにファイナダー越しに新たな魅力にも気付く。撮影した写真のタイトルにも工夫を凝らし、一人でも多くの人に三保の場所の魅力を伝えたいという思いから写真展を開催。手作りのチラシで中山駅前での宣伝活動。

その他、写真展「緑区を撮る！」への出展、こどもエコフォーラム等での発表を行う。



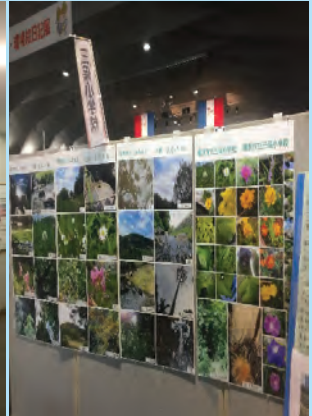
撮影のようす



写真展のよびかけ



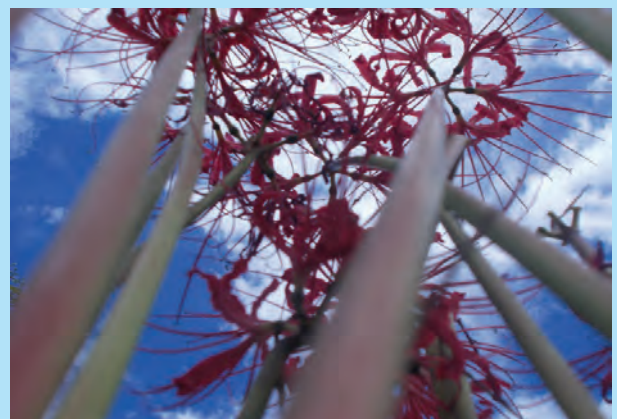
地区センター写真展



こどもエコフォーラム



「ひなたぼっこ」



「支え合って成長」

児童が撮影した写真

◆ホームページアドレス

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/miho/>

◆問合せ先

TEL:045-931-1026

FAX:045-937-0429

明治学院大学横浜キャンパス ヤギ除草システムプロジェクト(ヤギ部)

【団体概要】

◇ 活動の目的

本学横浜キャンパスは豊かな緑を守る「エコキャンパス」として位置付けています。ヤギ除草を通じて学生が「環境を大切にすること」への関心を高めるとともに、地域の方々などとも関わることで学内外へ発信することを目的としています。

◇ 活動場所 … 横浜市戸塚区

◇ 会員数 … 33名(平成30年5月現在)

◇ 活動開始年月… 平成26年4月

【主な活動内容】

◇ 除草促進のための日常活動

- ・ヤギの観察・記録
- ・除草エリアの検討・移動
- ・twitterによる情報発信

◇ 学内外向け広報活動

戸塚まつり(大学祭)やオープンキャンパスおよび地域住民の方々が見学に来た際に、ヤギ除草の効果等について紹介

【横浜環境活動賞を受賞して】

このような貴重な経験をさせていただき心より感謝しております。今回が初めての応募となりましたが、まだまだ伸ばすべきところや挑戦できることが多くあることに気づき、ヤギ除草プロジェクトを成長させるよい機会となりました。ヤギ除草プロジェクトは、人だけでなく動物と共におこなっていくところに特徴があり、同時にそれが難しさと言える活動でもあります。今後も常に目標を高く持ち、横浜キャンパスでしかできないこのエコ活動をより積極的に行っていくとともに、私達の生きる地球をよりよくするための手段の1つとして、協力してくださる方・動物に感謝しつつ歩んでいきたいと思っております。ありがとうございました。



学内での日頃の除草活動の様子です。
ヤギ1頭につき一日3kgの草を食べます。



ヤギ部メンバーは、小屋の掃除・水換え・ブラッシング・ヤギの健康観察などを行っています。その日のヤギの様子は日誌に記録します。



横浜キャンパス戸塚まつりにて、「MG牧場」を開催した際の集合写真です。学外の方にも普段の除草活動を見て触れ合っただけの良い機会となります。



エリア移動中、学内のスタッフがヤギと触れ合っている様子です。多くの学生やスタッフがこのようにヤギの癒し効果も実感しています。

◆問合せ先

TEL:045-863-2007

FAX:045-863-2008

Email: shomu@mguad.meijigakuin.ac.jp

横浜環境活動賞 受賞者一覧

※第13回までの名称は「横浜環境保全活動賞」

第1回・5年度	市民	横浜にとんぼを育てる会 帷子小ウォッチングクラブ モルフォ生物同好会 横浜・ゴミを考える連絡会 横浜自然観察の森友の会 大岡川の再生をすすめる会
	企業	日本電気株式会社横浜事業場 東洋製罐株式会社横浜工場 株式会社東芝生産技術研究所 生活協同組合コープかながわ
第2回・6年度	市民	海をつくる会 鴨池公園愛護会 けやきが丘森林愛護会 横浜市牛乳パックの再利用をすすめる連絡会 寺家ふるさと村体験農業振興組合 フリーマーケット「緑区民ふれあい市場」緑実施世話人会
	企業	相鉄ローゼン株式会社 東京電力株式会社神奈川支店鶴見支社 日本鋼管株式会社鶴見製作所
第3回・7年度	市民	三ツ沢せせらぎ緑道のほたるを育てる会 自然に学ぶ会 ファイバーリサイクルネットワーク 中田ふれあいの樹林愛護会 峰岡町二丁目自治会
	企業	大成建設株式会社横浜支店 ムラタ計測器サービス株式会社 株式会社イトーヨーカ堂(上永谷店他8店) 生活クラブ生活協同組合・神奈川
第4回・8年度	市民	戸塚ホテル研究会 恩田の谷戸ファンクラブ ラブリバートリップ大岡川 並木谷堆肥利用組合 ふるさと侍従川に親しむ会
	企業	株式会社エフピコ横浜営業所 麒麟ビール株式会社横浜工場 日本石油精製株式会社根岸製油所 みなとみらい21リサイクル推進協議会
第5回・9年度	市民	エコ・ライフいずみ リフォーム横浜会 泉の森ふれあい樹林愛護会 白幡緑の会 横浜市氷取沢小学校PTA牛乳パック・リサイクルの会 港北区牛乳パック回収グループ
	企業	株式会社日立製作所横浜地区 株式会社オオスミ ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 三菱地所株式会社横浜事業部(横浜ランドマークタワー)
第6回・10年度	市民	鶴見川を再発見する会 HAB21イルカ研究会 松の川遊歩道(緑道)の会 白根竹の森運営委員会 港北くらしの研究会 相沢川を考える会
	企業	株式会社テルム本社 株式会社熊谷組横浜支店 株式会社日立製作所情報通信事業部 横浜市廃冷蔵庫フロン回収・処理推進協議会 松下通信工業株式会社(佐江戸工場・綱島工場)

第7回・11年度	市民	あおばく・川を楽しむ会 アゲイン瀬谷 和泉川源流を楽しむ会 港南台自然観察クラブ・クロー ソフトエネルギープロジェクト
	企業	石川島播磨重工業株式会社横浜事業所 株式会社東芝横浜事業所 株式会社フジタ横浜支店 武蔵工業大学環境情報学部
第8回・12年度	市民	大岡川 Fun Club 市沢・仏向の谷戸に親しむ会 みどりの学校 横浜自然観察の森友の会 雑木林ファンクラブ 早淵川をかなでる会 上山ふれあいの樹林愛護会
	企業	神奈川機器工業株式会社 本社・工場 東京ガス株式会社 環境エネルギー館 東京ガス株式会社 根岸工場 東京電力株式会社 西火力事業所横浜火力発電所 日立湘南電子株式会社 本社工場 三菱重工業株式会社 横浜製作所
第9回・13年度	市民	荒井沢市民の森愛護会 かなざわ森沢山の会 宮沢の森愛護会 特定非営利活動法人 よこはま水辺環境研究会
	企業	株式会社CRC総合研究所データセンター事業部 川本工業株式会社 株式会社 サカクラ 株式会社 リコー中央研究所 株式会社 ニコン横浜製作所
第10回・14年度	市民	野庭馬洗川自然愛護会 みどり・川と風の会
	企業	日本発条株式会社 横浜事業所 東京ガス株式会社 扇島工場 株式会社 ダイイチ 済生会横浜市南部病院
第11回・15年度	市民	EM花の会 神奈川森林エネルギー工房 北八朔公園愛護会 港北ニュータウン緑の会 横浜植物会
	企業	株式会社 竹中工務店横浜支店 工藤建設株式会社 株式会社 ユニキャット 株式会社 アベックスディーピーエフシステム 横浜市資源リサイクル事業協同組合 綱島商店街連合会
第12回・16年度	市民	和泉の森を育む会 梅田川水辺の楽校協議会 桜ヶ丘・森の仲間たち 野島自然観察探見隊
	企業	東京電力株式会社 西火力事業所 南横浜火力発電所 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 横浜支社 日本ビクター株式会社 本社・横浜工場 タカナン乳業株式会社 横浜工場 日産自動車株式会社 横浜工場

第13回・17年度	市民	和泉川東山の水辺愛護会 瀬谷市民の森愛護会 新治市民の森愛護会 神奈川県環境学習リーダー・エネルギー会 横浜メダカの会
	企業	東京電力(株)神奈川支店 (株)京急百貨店 フェリス学院大学 千代田化工建設(株)
第14回・18年度	市民	いかだで遊ぼう谷本川実行委員会 和泉川中央水辺愛護会 カマリヤン倶楽部 上矢部まちづくりの会 亀谷戸せせらぎ水辺愛護会 鴨居原市民の森愛護会 ナウシカの会 平潟湾クリーンアップキャンペーン実行委員会 富士見水辺愛護会 保土ヶ谷フリーマーケット実行委員会 本郷ふじやま公園運営委員会 特定非営利活動法人 ヨコハマ倉造空間 特定非営利活動法人 楽竹会
	企業	東京ガス株式会社 神奈川支店 若築建設株式会社 横浜支店
	児童・生徒・学生	上矢部まちづくり子ども実行委員会 ガールスカウト神奈川県第8団 関東学院大学・環境サークルHEP(ヘップ) 横浜市立大道小学校・ふるさとの水辺クラブ 横浜市立西柴小学校・西柴アマモ隊 武相中学高等学校・生徒会 横浜市立山元小学校・農園委員会
	市民	磯子区環境を考える会 長津田小学校野草園ボランティア 堀割川魅力づくり実行委員会 もえぎ野ふれあいの樹林愛護会 横浜野菜推進委員会
第15回・19年度	企業	国立大学法人横浜国立大学 パナソニック・モバイルコミュニケーションズ(株)佐江戸事業所
	児童・生徒・学生	下永谷小学校卒業生クラブ 鶴見大学生物部 横浜国立大学附属横浜中学校ブルーアースサミット
第16回・20年度	市民	金沢八景—東京湾アマモ場再生会議 上郷森の会 栄さとやまのりの会 大曽根の自然を楽しむ会 同愛会リプラス 獅子ヶ谷緑地保全会 関ヶ谷市民の森愛護会
	企業	前田建設工業株式会社 横浜支店 有限会社 マルニ商店
	児童・生徒・学生	横浜市立本郷中学校科学部 戸塚まつり準備会 金沢八景クラブ

第17回・21年度	市民	新井町公園愛護会 飯田雀のお宿 まゆの会 NPO法人 Waveよこはま こどものためのオープンハウス 日本の竹ファンクラブ 南瀬谷中学校PTA 洋光台まちづくり協議会 青少年夢環境部会
	企業	株式会社岡村製作所 企画本部情報システム部
第18回・22年度	児童・生徒・学生	横浜市立浦島丘中学校 生徒会 神奈川県立荏田高等学校(1学年) 神奈川県立新羽高等学校 生徒会 環境整備委員会 横浜祭運営委員会(Y. F. A)
	市民	「大賞」 市沢・仏向の谷戸に親しむ会 「実践賞」 北八朔公園愛護会 いたち川と親しむ会 瀬上の森パートナーシップ(SMP) 鴨居駅周辺まちづくり研究会 鶴見川下流ネットワーク・鶴見 都田江川水辺愛護会 若葉台連合自治会 瀬谷環境ネット 奈良川源流域を守る会 福田誠一郎
第19回・23年度	企業	「大賞」 株式会社大川印刷 「実践賞」 横浜消防器株式会社 株式会社 横浜フリースポーツクラブ 岩井の胡麻油株式会社 スーパーホテル横浜・関内 旭硝子株式会社 中央研究所 株式会社 野毛印刷社 東京電力株式会社 横浜支社
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立汐見台中学校・環境美化委員会と全校生徒 「実践賞」 横浜市立朝比奈小学校・わくわくホテル池守り隊
第19回・23年度	市民	「大賞」 特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワークキング 「実践賞」 海をつくる会 鶴見川舟運復活プロジェクト 松の川遊歩道(緑道)の会 めっちゃどろクラブ
	企業	「大賞」 キリンビール株式会社 横浜工場 「実践賞」 生活協同組合連合会 ユーコープ事業連合 トレッサ横浜
	児童・生徒・学生	「実践賞」 横浜市立十日市場中学校、及び、地域交流事業実行委員会 横浜市立南中学校 アジサイクラブ 横浜市立南希望が丘中学校 ビオトープ特別委員会
		「生物多様性特別賞」 特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワークキング 横浜市立南希望が丘中学校 ビオトープ特別委員会

第20回・24年度	市民	「大賞」 トンボはドコまで飛ぶかフォーラム 「実践賞」 あおば学校支援ネットワーク あおば発エコ大作戦実行委員会 大塚・歳勝土遺跡公園愛護会 トンボみちファンクラブ ファイバーリサイクルネットワーク 緑区霧が丘六丁目自治会 弥生台のせせらぎとホテルを守る会 横浜市都田第一土地改良区「不法投棄やめさせ隊」 特定非営利活動法人 楽竹会
	企業	「大賞」 株式会社横浜八景島 「実践賞」 ia corporation株式会社 金沢事業所 アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店 株式会社オカムラ物流 横浜物流センター JFEエンジニアリング株式会社 鶴見製作所 JFE環境株式会社 東京ガス株式会社神奈川支社横浜支店 ナイス株式会社 東日本電信電話株式会社 神奈川支店
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立戸部小学校 とべエコクリーン委員会 「実践賞」 横浜市立芹が谷中学校 環境活動部 横浜市立新羽中学校 自然科学部 横浜市立三保小学校
		「生物多様性特別賞」 トンボはドコまで飛ぶかフォーラム
第21回・25年度	市民	「大賞」 新横浜町内会 「実践賞」 泉区農業応援隊 NPO法人 海の森・山の森事務局 青少年みどり遊楽舎 綱島バリケン島プロジェクト 特定非営利活動法人こどもリクラブ 水辺愛護会帷子川はふるさとの川の会 横浜緑の推進団体港北区連絡会 (「皇帝ダリアを咲かせようin港北プラス1」)
	企業	「大賞」 プリンズ電機株式会社 「実践賞」 株式会社ノーリツ 神奈川支店 株式会社ファンケルスマイル(特例子会社) 生活協同組合ユーコープ 大成建設株式会社技術センター 三井不動産株式会社 横浜支店 三井不動産レジデンシャル株式会社 横浜支店
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立山下みどり台小学校 「実践賞」 県立神奈川総合高等学校エコ局 横浜市立大学環境ボランティアStepUp ↑ 横浜市立矢向小学校ピオトップ委員会
		「生物多様性特別賞」 水辺愛護会帷子川はふるさとの川の会

第22回・26年度	市民	「大賞」 慶應義塾大学・日吉丸の会 「実践賞」 一本橋メダカ広場水辺愛護会 上笹下地区竹の子育成の会 グリーンサポーターズ・いそご 中川ルネッサンスプロジェクト会 大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会
	企業	「大賞」 リスト株式会社 「実践賞」 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ新横浜本部
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立大学環境ボランティア StepUp ↑ 「実践賞」 フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会
		「生物多様性特別賞」 慶應義塾大学・日吉丸の会
第23回・27年度	市民	「大賞」 新治市民の森愛護会 「実践賞」 I LOVE YOKOHAMA【横浜】 大通り公園水の広場愛護会 久下勇次郎 鶴見「みどりのルート1」をつくる会 戸塚桜セーバー 特定非営利活動法人 ホテルのふるさと瀬上沢基金 横浜サンプラザプロジェクト実行委員会
	企業	「大賞」 イケア・ジャパン株式会社 IKEA港北 「実践賞」 石井造園株式会社 株式会社大倉物産 京セラコネクタプロダクツ株式会社 高梨乳業株式会社 日本電技株式会社 横浜支店 株式会社ブリヂストン 横浜工場 株式会社横浜ビール
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立舞岡中学校 科学部
		「生物多様性特別賞」 横浜市立舞岡中学校 科学部

第 24 回 ・ 28 年 度	市民	「大賞」 特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会 「実践賞」 阿部 昭雄 一般社団法人 大岡川川の駅運営委員会 関ヶ谷市民の森愛護会 平戸永谷川水辺愛護会 横浜温暖化防止推進員会議 特定非営利活動法人 楽竹会
		「大賞」 株式会社よこはまグリーンピース 「実践賞」 カーボンフリーコンサルティング株式会社 株式会社東芝ストレージ&デバイスソリューション社 大船分室
	児童・生徒・学生	「大賞」 フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会 「実践賞」 横浜市立三ツ沢小学校
	「生物多様性特別賞」 特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会	
第 25 回 ・ 29 年 度	市民	「大賞」 横浜市地球温暖化対策推進協議会 「実践賞」 熊野の森もろおかスタイル 笹下川再生プロジェクト 南中あじさい咲かせ隊 横浜海の公園ライフセービングクラブ 緑園地区活性化委員会 緑園子ども見守りプロジェクト
		「大賞」 株式会社ファンケル 「実践賞」 株式会社アベックス 京浜東海支社
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立三保小学校 「実践賞」 明治学院大学横浜キャンパス ヤギ除草システムプロジェクト
	「生物多様性特別賞」 笹下川再生プロジェクト	

市民の部 計157者、企業の部 計106社、学生等の部 計37者
合計300者

第25回横浜環境活動賞 事例集

平成30年6月発行

横浜市 環境創造局 政策課
TEL:045-671-2484 FAX:045-641-3490
Email:ks-tayou@city.yokohama.jp

